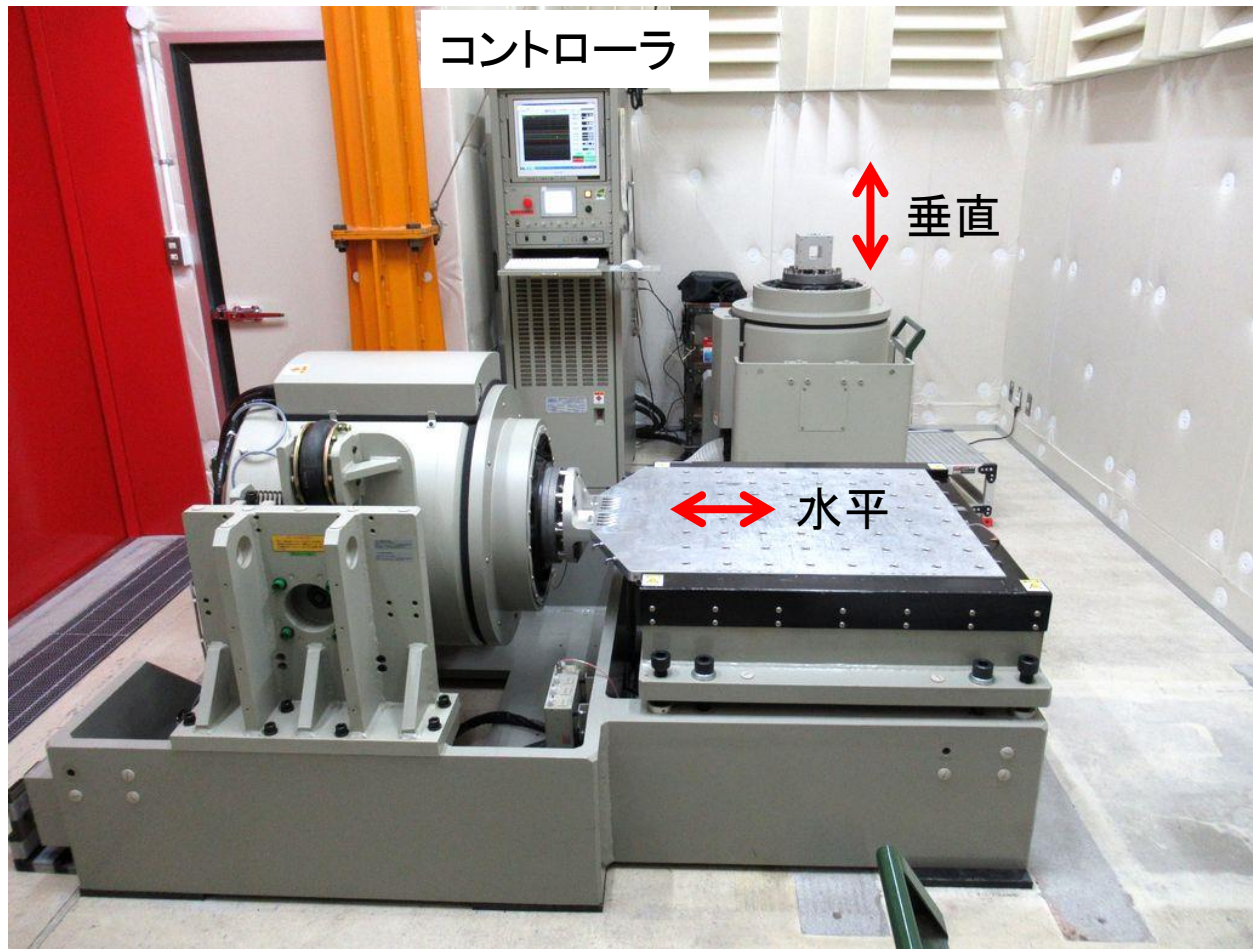


はじめての方へ

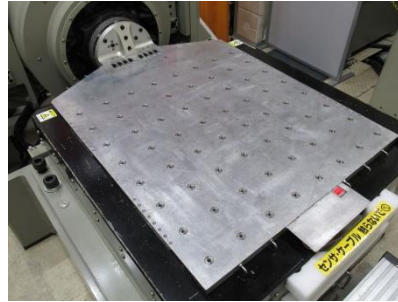
【振動試験システムの概要】

- ・水平(x、y)方向に動く1軸振動試験機1台と、垂直(z)方向に動く1軸振動試験機1台 をコントローラ1台で切替えて使用します。水平、垂直を同時に動かすことはできません。
- ・水平方向で試験した場合、試験終了後、試験機の冷却期間として10分間必要です。試験機冷却完了後、垂直方向に制御を切り替えることができます。逆も同様です。



【試験テーブルについて】

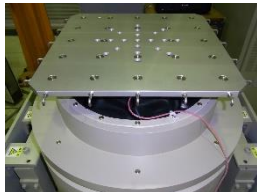
■ 水平方向の振動試験機の試験テーブルは800mm × 800mmの1種類。



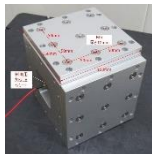
■ 垂直方向の振動試験機の試験テーブルは以下の3種類。



テーブル大800mm × 800mm
上限周波数300Hz



テーブル小500mm × 500mm
上限周波数500Hz



立方体治具150mm × 150mm × 150mm
上限周波数2000Hz
(小型軽量の電子部品、基板製品に限る)

試験テーブルからはみ出さないように設置する必要があります。
試験テーブルは試験品のサイズ、試験周波数によって選択します。

【試験のスケジュールについて】

・試験スケジュールのイメージ(xyz方向各90分試験の例)

9:00 受付
9:05～ 9:15 水平テーブルへ治具取付け
9:15～10:45 **x方向90分試験**
10:45～10:55 y方向に治具付け替え
10:55～12:25 **y方向90分試験**
12:25～13:00 昼休憩
13:00～13:10 z方向に治具付け替え
13:10～14:40 **z方向90分試験**
14:40～14:50 治具取り外し、撤収

【費用について】

費用は受付から撤収完了までの作業等を含めた時間で計算します。
料金表より使用料A円／時間、使用料(増分)B円／時間とある場合、
例えば8時間分の使用料は「 $A + B \times 7$ 」円となります。

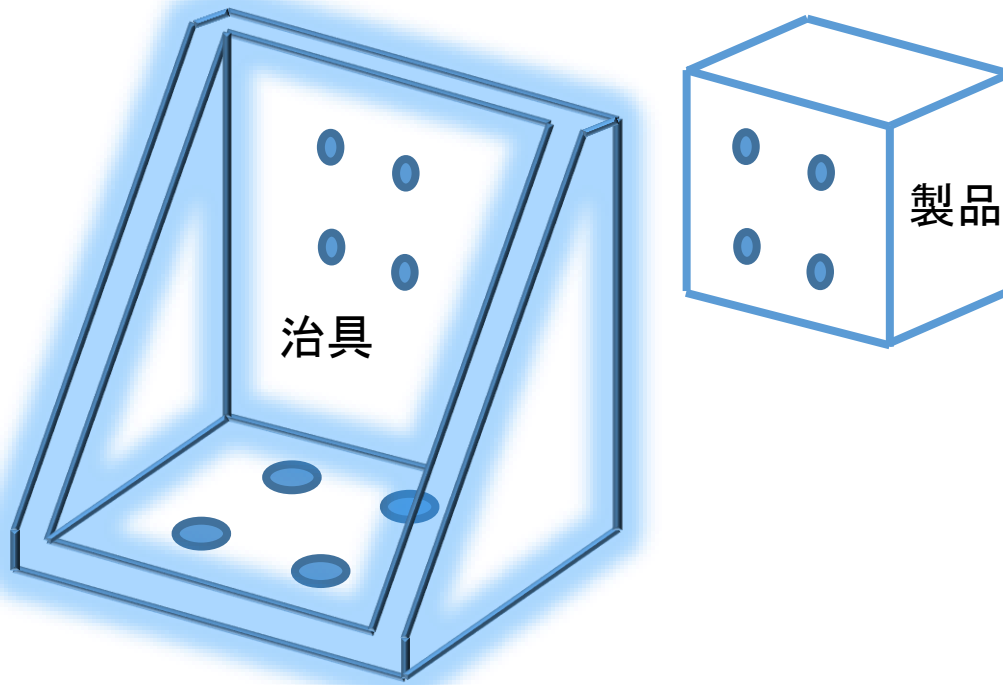
【使用時間について】

使用できる時間帯は9時～16時30分(16時30分までに撤収完了)です。
夜間の運転はしておりません。

【電話予約について】

試験品および治具のサイズ、重量、試験条件、試験スケジュールを担当者にお伝えいただき、内容の確認がとれましたら、予約可能となります。（内容未定のまま予約はできません。）

■治具について

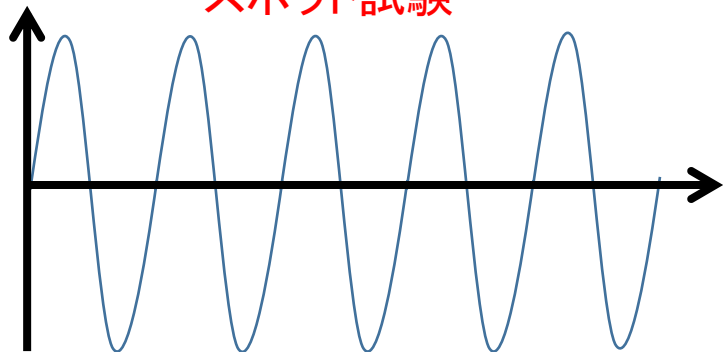


製品のサイズ、重量
治具のサイズ、重量をお伝えください

■振動の種類

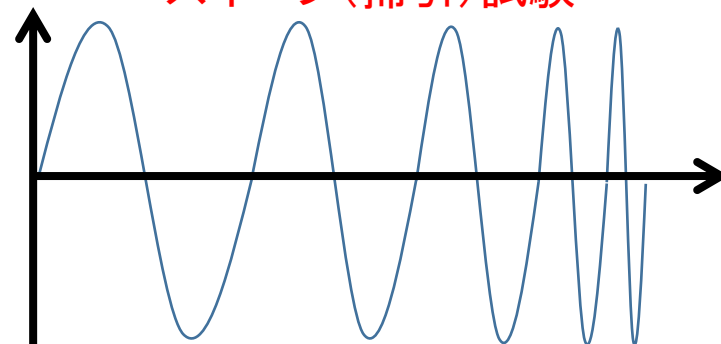
・正弦波振動試験

スポット試験



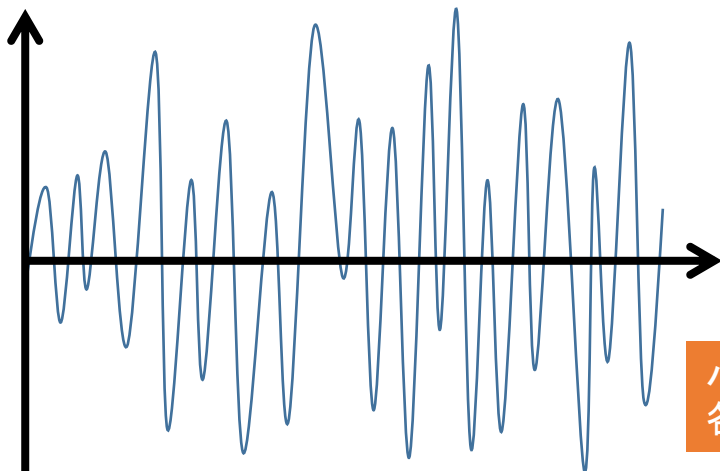
周波数[Hz]、加速度[G]or全振幅[mm]、試験方向(xyz)、各方向の試験時間[分]をお伝えください。

スweep(掃引)試験



周波数範囲[Hz]、加速度[G]or全振幅[mm]、掃引方法(リニアorログ)、片道の時間[分]、試験方向(xyz)、各方向の試験時間[分]をお伝えください。

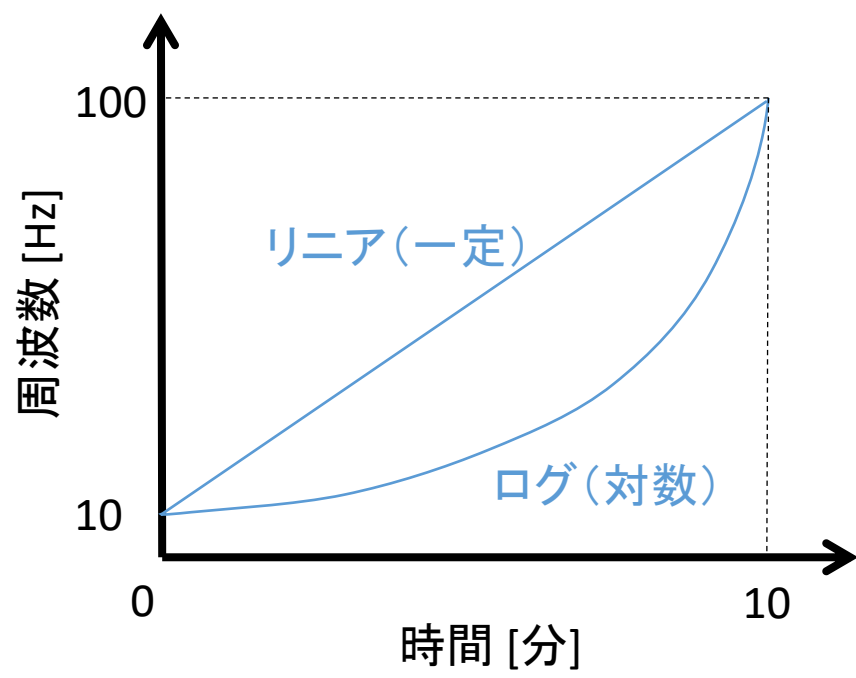
・ランダム振動試験



パワースペクトル密度(PSD)の表・グラフ、試験方向(xyz)、各方向の試験時間[分]をお伝えください。

■ 正弦波振動・スイープ試験の掃引方法について

・10Hzから100Hzまで10分かけて周波数を上げる例



スイープ試験の場合、掃引方法として、リニアかログのどちらを選択するか必ずお伝えください。

■ 正弦波振動・スイープ試験による共振測定について

加速度センサを製品に固定することで共振測定を行うことが可能です。測定結果のグラフはプリンタで印刷いたしますが、データが必要な場合は未開封のCD-Rをお持ちください。(USBメモリ等は不可)



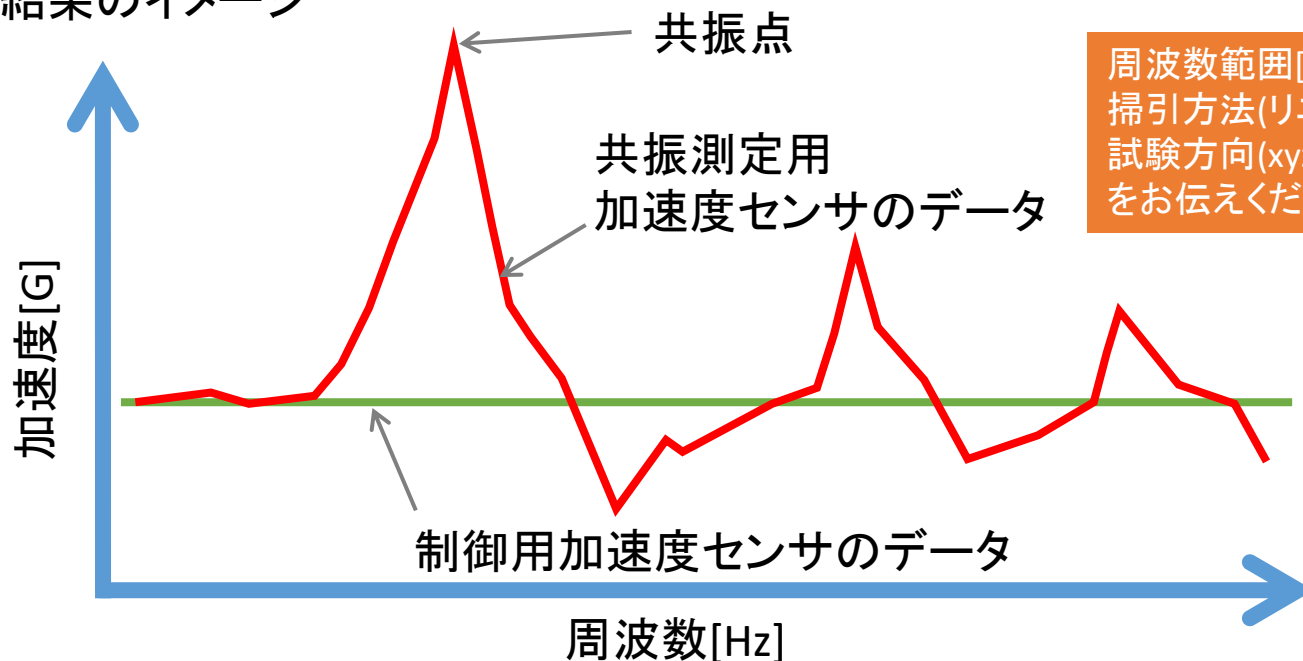
共振測定用加速度センサ



加速度センサの取り付け例

瞬間接着剤で
固定します

結果のイメージ



周波数範囲[Hz]、加速度[G]or全振幅[mm]、
掃引方法(リニアorログ)、片道の時間[分]、
試験方向(xyz)、各方向の試験時間[分]
をお伝えください。